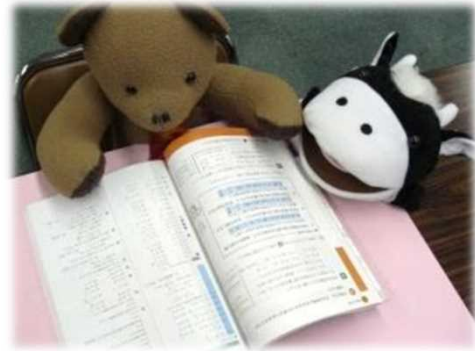


## 第2回 羽島市新しい時代の学校構想検討委員会



竹鼻中学校吹奏楽部 定期演奏会



適応指導教室「こだま」

令和5年2月13日(月)  
羽島市教育委員会

1

資料①

## 休日文化部活動の地域移行

2

## 検討事項

本日も審議いただきたいこと

羽島市の休日文化部活動の地域移行に向けて

- ① 運営団体(受け皿)について
- ② 地域クラブの指導者について
- ③ 活動場所・施設等について

3

## I 文化部活動とは

### (1) 部活動の意義

<中学校学習指導要領 第1章 総則 第4の2より>

○学校教育の一環

- ・生徒の自主的、自発的な参加
- ・学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する
- ・地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体との連携などの運営上の工夫を行う

4

## Ⅰ 文化部活動とは

### (2) 文化部活動の地域移行の方向性・意義

市教育委員会の方針

- ① 誰もが参加しやすい文化部活動の推進  
⇒生涯にわたって**文化芸術等に親しむ**ことの素地づくり
- ② **地域の文化芸術団体等との連携・協働**  
⇒専門的人材による指導、地域の方とのコミュニケーション  
後継者の育成、地域における文化芸術の発展
- ③ 活動時間の適正化  
⇒休養日の設定、休日の**活動時間は3時間程**

5

## Ⅰ 文化部活動とは

### (3) 文化部活動の種類と加入人数(市内各中学校)

学校名	美術	パソコン	合唱	英会話	吹奏楽	茶華道	合計
羽島中	76	80	13	23	—	—	192
竹鼻中	27	65	—	—	36	22	150
中央中	39	56	—	—	—	—	95
中島中	42	—	—	—	—	—	42
<b>合計</b>	<b>184</b>	<b>201</b>	<b>13</b>	<b>23</b>	<b>36</b>	<b>22</b>	<b>479</b>

市内の中学生の**4分の1 (25%)**が、**文化部活動**に所属

- ・竹鼻中のパソコン科学部は、主にパソコン、一部科学実験を行う。
- ・桑原学園には文化部活動はない。

6

## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

- 調査時期 令和5年1月実施
- 対象者 文化部活動に所属している**中学1・2年生**  
(羽島中・竹鼻中・中央中・中島中)
- 有効回答数 **計260名** (対象者320名、回答率81%)
- 質問内容 (1) 所属している文化部活動を**選んだ理由**  
(2) 所属している文化部活動の**良さについて**  
(3) 休日に**どの程度の日数**を活動したいか  
(4) あったら活動してみたい文化活動

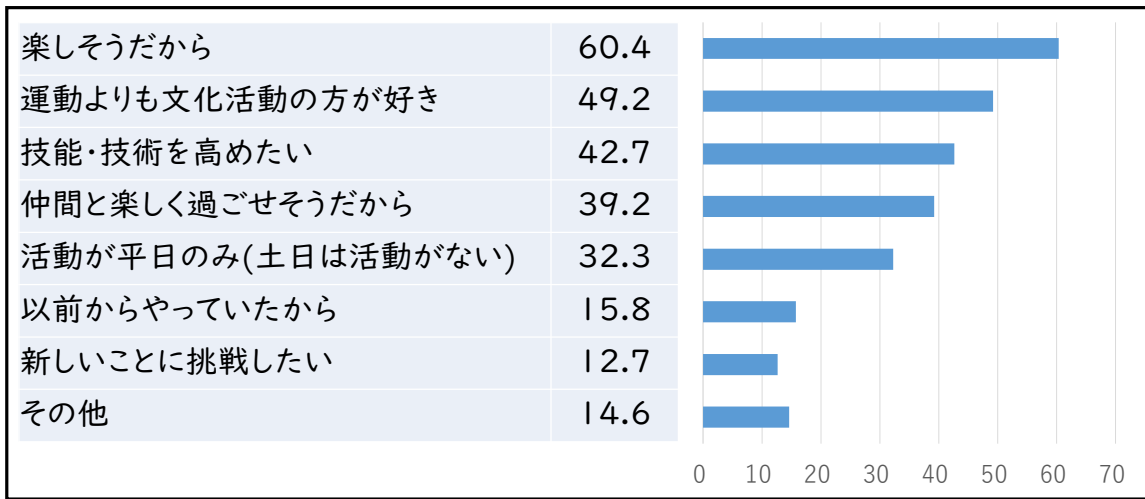
7

Memo

8

## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (1) 文化部活動を選んだ理由 (%) ※複数回答



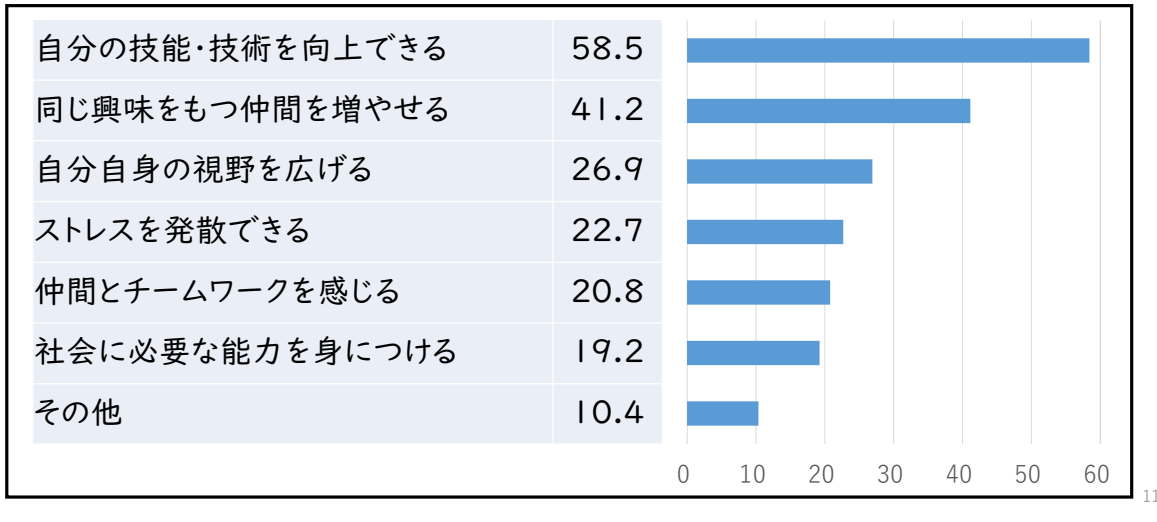
## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (1) 文化部活動を選んだ理由

- ・「楽しそうだから」「運動より文化活動のほうが好きだから」を半数の生徒が理由に挙げている。
- ・「土日に活動がないから」という理由は、全体のおよそ30%程度であった。休日の活動について、一定のニーズがあるといえる。
- ・部活動により特徴がある。
  - パソコン部は「技能・技術を高めたい」の割合が高い。
  - 美術部は「仲間と楽しく過ごせそう」の割合が高い。
  - 吹奏楽部は「土日に活動がないから」がほとんどいない。

## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (2) 所属している文化部活動の良さ (%) ※複数回答



## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (2) 所属している文化部活動の良さ

・58.5%の生徒が「**自分の技能・技術を向上させることができる**」という理由を挙げていた。

・「**同じ興味をもつ仲間を増やすことができる**」を選んだ生徒も多く、仲間づくりという点に価値を見出しているといえる。

・部活動により特徴がある(選んだ割合が最も高かったもの)。

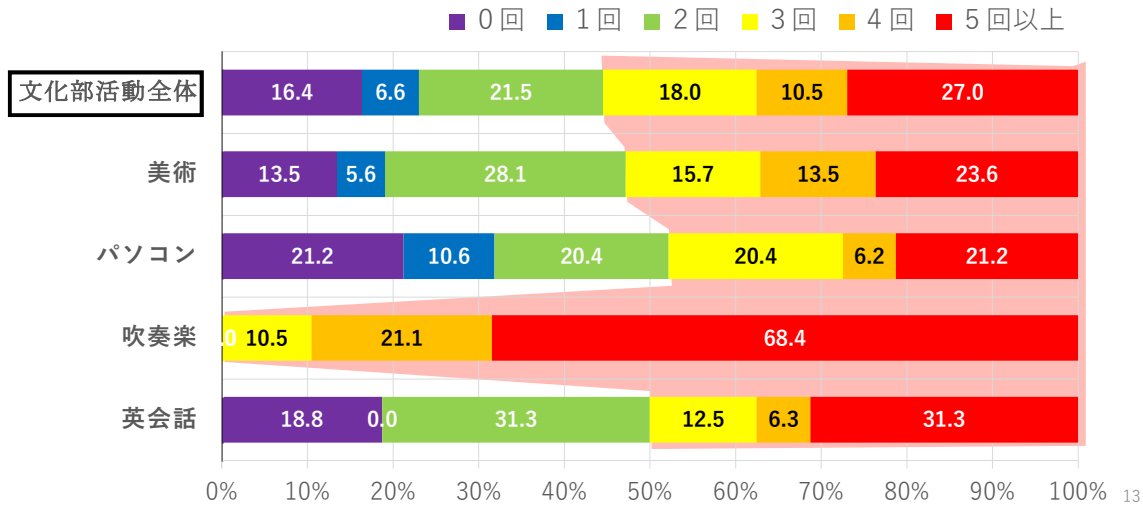
→美術部は「**仲間を増やせる**」

→パソコン部は「**技能・技術を向上できる**」

→吹奏楽部は「**仲間とチームワークを感じる**ことができる」

## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (3) 休日にどの程度の日数を活動したいか (%)



## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (3) 休日にどの程度の日数を活動したいか

#### ■ 休日の部活動の回数について

月3回以上の活動を希望する生徒が半数以上いる。

#### ■ 希望回数が多い部活動

吹奏楽部など、集団で練習を必要とする部活の希望回数が多い。  
家ではできない活動なので、もっとやりたいという意見もあった。

#### ■ 希望回数が少ない部活動

パソコン部・美術部・英会話部については、希望回数が少ない生徒が一定数いるが、「家には道具・器具がないので、休日も活動したい」という意見があった。

## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (4) あったら活動してみたい文化活動

#### 市内中学1・2年生(義務教育学校7・8年生)へのアンケート調査

- 調査時期 令和5年1月実施
- 対象校 市内5校  
(羽島中・竹鼻中・中央中・中島中・桑原学園)
- 有効回答数 **合計807名**  
**(内、文化部活動所属260名**  
**文化部活動所属者以外547名)**
- 質問内容 現在所属する学校に設置されていないが、  
あれば活動してみたい文化活動について

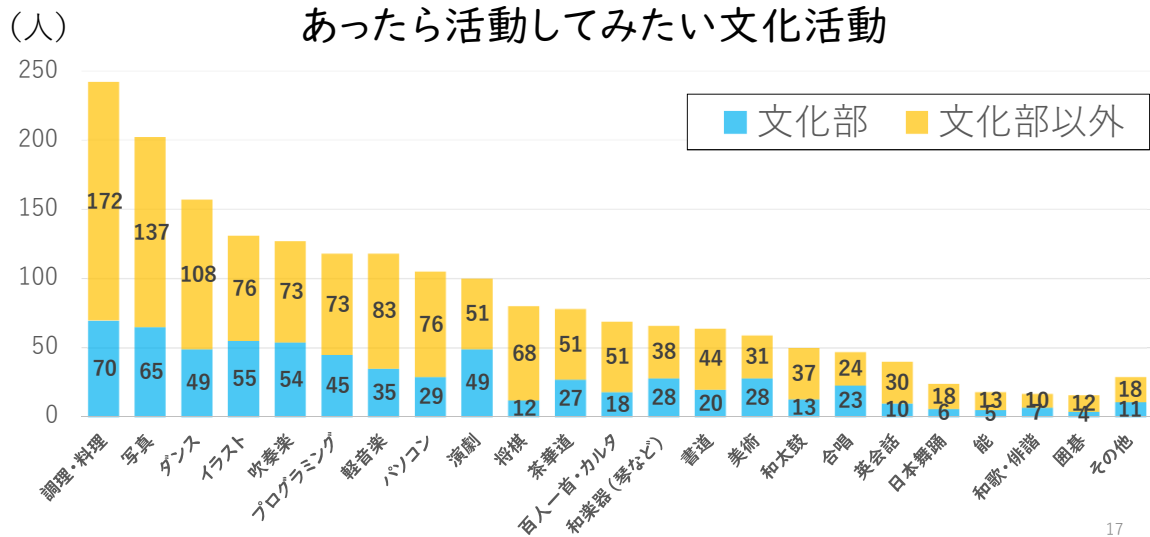
15

Memo

16



## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)



## 2 文化部活動に対する意識について(アンケート結果より)

### (4) あったら活動してみたい文化活動

#### ■市内に部活動が設置されている文化活動について

・吹奏楽、美術、パソコンなど、**所属学校に設置がない部活動での活動を希望する生徒が一定数いる。**

#### ■市内に部活動が設置されていない文化活動について

- ・料理・調理、写真、ダンスの希望者が多い。
- ・イラスト・プログラミングに興味を持つ生徒が多い。美術部やパソコン部は設置されているが、特化した分野の希望が一定数ある。
- ・料理・調理、写真、軽音楽・演劇等は類似する部活動がなく、希望者数が多い分野である。

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (1) 文化庁が示している地域移行のための組織・体制の例

運営団体・実施主体	地域の指導者、民間事業者、文化芸術団体、大学、地域学校協働本部、同窓会等
指導者	地域の指導者（一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等が有する施設
費用	可能な限り低廉な会費+用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

<学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインより> R4.12月

19

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (2) ② 先行事例について（移行した部活動）

自治体	移行した部活動
A 栃木県佐野市	文化部1部（吹奏楽）、運動部11部
B 富山県朝日町	文化部1部（吹奏楽）、運動部7部
C 徳島県徳島市	文化部1部（吹奏楽）
D 静岡県掛川市	文化部1部（吹奏楽） 部活動の設置がない活動（合唱・弦楽器）も展開

20

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (2)③先行事例について(運営団体)

自治体	地域クラブの運営団体
A 栃木県佐野市	<b>総合型地域スポーツクラブ</b> (特定非営利活動法人 たぬまアスレチッククラブ)
B 富山県朝日町	<b>新規に立ち上げた地域クラブ運営団体</b> (朝日町型部活動コミュニティクラブ)
C 徳島県徳島市	<b>文化芸術団体</b> (徳島交響楽団 ジュニアオーケストラ)
D 静岡県掛川市	<b>文化芸術団体</b> (特定非営利活動法人 掛川文化クラブ)

21

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (2)③先行事例について(指導者)

自治体	地域クラブの指導者の確保・派遣団体
A 栃木県佐野市	教員の兼職兼業・文化芸術関係団体に派遣を依頼
B 富山県朝日町	教員の兼職兼業・民間の音楽教室から派遣
C 徳島県徳島市	運営団体の楽団員
D 静岡県掛川市	地域の楽団員(クラブの役員)

22

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (2) ③ 先行事例について (活動場所・施設)

自治体	地域クラブの活動場所・施設
A 栃木県佐野市	学校施設を利用 (吹奏楽)
B 富山県朝日町	学校施設を利用 (吹奏楽)
C 徳島県徳島市	学校施設を利用 (吹奏楽)
D 静岡県掛川市	学校施設 (吹奏楽) と公共施設 (合唱・弦楽器) を併用

23

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (3) ① 羽島市の休日運動部活動の地域移行の状況

○ 羽島市は運動部活動の地域移行を実施・推進中

- ・ 令和3年度4月～ 竹鼻中学校の全運動部活動にて実施。
- ・ 令和5年度4月～ 羽島中学校・中島中学校・桑原学園にて実施予定。
- ・ 中央中学校は、令和6年度4月からの実施に向け協議中。

24

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (3)②竹鼻中の地域移行の概要(運営団体・指導者・活動場所)

##### ■地域移行を行った部活動について

- ・竹鼻中学校の運動部12部を地域移行。

##### ■運営団体(受け皿)について

- ・総合型地域スポーツクラブ「はしまなごみスポーツクラブ」が運営。指導者の募集や派遣、謝金支払いなどを担っている。

##### ■指導者について

- ・これまでの社会人指導者をクラブ指導者とした。
- ・兼職兼業の教員は7名。
- ・市スポーツ協会、大学に指導者紹介を依頼し、確保。

##### ■活動場所・施設について

- ・学校施設(学校開放施設)や市のスポーツ施設を利用している。

### 3 休日文化部活動の地域移行について

#### (3)②竹鼻中の地域移行の概要(指導者謝金・保護者負担)

##### ■指導者への謝金

- ・1回あたり1000円、月最大8回分を支払う。

##### ■令和4年度の保護者負担額

- ・年会費2000円+参加料1000円(3か月分)+保険料800円  
(ひと月あたり、約500円)

##### ■令和5年度の保護者負担額

- ・スポーツ庁からの補助金が終了。
- ・年会費6000円+参加料500円(1か月分)+保険料800円  
(ひと月あたり、約1000円)

その他、クラブ(種目)により、必要額を集めている。

#### 4 検討事項 ～休日文化部活動の地域移行について～

市教育委員会の方針

現在、市内に設置されている文化部活動

美術	パソコン	合唱
英会話	吹奏楽	茶華道

令和5年度から協議を進め、**準備が整った文化部活動から、地域移行を行う。**

将来的には、生徒のニーズをもとに、多様な文化活動を行える環境の整備

27

#### 4 検討事項 ～休日文化部活動の地域移行について～

休日文化部活動をどのように地域移行するか

##### ①運営団体(受け皿)について

##### ◆運営団体に想定される業務

- ・生徒(会員)の募集や管理
- ・学校や保護者との情報交換・窓口的業務
- ・参加料や指導謝金等の経理事務

28

#### 4 検討事項 ～休日文化部活動の地域移行について～

##### 休日文化部活動をどのように地域移行するか

##### ②指導者について

- ・各分野の指導を担う人材（指導者）の確保
- ・学校（顧問）との連携や教育的な配慮ある指導

29

#### 4 検討事項 ～休日文化部活動の地域移行について～

##### 休日文化部活動をどのように地域移行するか

##### ③活動場所・施設等について

- ・活動で使用する道具・用具の確保
- ・活動を行うことができる場所・施設の選定
- ・学校施設を利用する際の課題（鍵の管理等）と解決策

30

資料②

# 不登校対策

31

## 検討事項

本日も審議いただきたいこと

今後の不登校対策について

- ① 不登校児童生徒への支援の取組み
  - 校内適応指導教室「のぞみ(仮称)」の開設について
  - 仮想空間(メタバース)適応指導教室の新設について
- ② 新たな不登校を生み出さない取組み
  - 一人一人にとって魅力ある学校づくりとは

32



## Ⅰ 羽島市の不登校の現状について

### (1) 羽島市の不登校児童生徒認知件数(年30日以上欠席)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3	R4 12月末
不登校児童生徒数	83	98	94	106	117	130
市内学校の年間授業日数	205	206	186	190	203	151

#### □年間授業日数

令和元年度は3月臨時休業

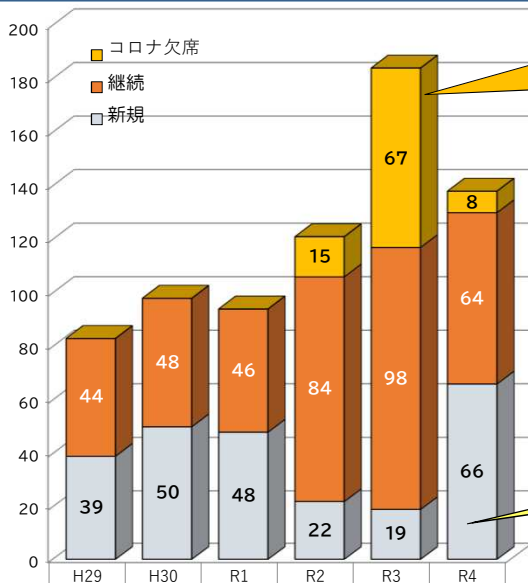
令和2年度は4・5月臨時休業(6月2週目まで分散登校)

#### □コロナ感染予防のための出席停止30日以上

令和2年度15人 令和3年度67人 令和4年度(12月末現在)8人

33

## Ⅰ 羽島市の不登校の現状について



コロナ感染予防という理由で  
年30日以上欠席した児童生徒数  
(出席停止扱い)

令和3年度にコロナ感染予防のため  
に欠席した児童生徒が、  
令和4年度になって新規の不登校  
となったケースあり

R4は12月末現在の人数

R1・R2は年間授業日数が少ない

34

# 羽島市の不登校の現状について

## (2) 不登校の要因について

### <小学校>

	要因	割合
①	不安	41.5%
②	家庭の状況	32.1%
③	無気力	15.1%

調査は複数回答

### <中学校>

	要因	割合
①	無気力	25.3%
②	不安	24.7%
③	学校生活	15.2%

調査は複数回答

○「無気力」「不安」を要因とする不登校が多い。

○無気力や不安の背景として、家庭の状況や友人とのトラブルが関連している事例がある。

○コロナ禍による学習活動の制限や家庭に  
いる生活の長期化等により、学校生活に不安を感じている事例がある。

35

# 羽島市の不登校の現状について

## 不登校に対する市教育委員会の方針

### 不登校を「問題行動」ととらえない

- ① 休養の必要性 「登校しなければならない」からの解放
- ② 学校復帰を求めない 個々の状況に応じた支援体制
- ③ 将来的な社会的自立を目指す 学びを止めない 多様な学習の場の提供

取組み I

不登校児童生徒  
への支援

取組み II

新たな不登校を  
生み出さない

36

## 2 羽島市の不登校対策について

### 取組み I 不登校児童生徒への支援

#### ① 本人への支援

#### 心に寄り添う支援(早期発見・早期対応について)



##### 心のアンケート

悩みや心の健康状態を早期発見するために、定期的にアンケートを行う。

##### 教育相談

学級担任・教育相談担当・養護教諭等が、本人の心に寄り添った相談を行う。

##### カウンセリング

専門的な知識をもったスクールカウンセラー等がカウンセリングを行う。

##### 家庭訪問

学級担任やスクールソーシャルワーカー等が家庭を訪問し、支援を行う。

#### 学習支援

##### 授業配信

オンラインシステムを活用した授業配信

##### 授業支援アプリ

双方向でやりとりできる学習支援

#### 居場所づくり

保健室

相談室

適応指導教室「こだま」

フリースクール等の学校外の支援機関

37

## 2 羽島市の不登校対策について

### 取組み I 不登校児童生徒への支援

#### <時間割>

#### ① 本人への支援

##### ■ 適応指導教室「こだま」

- ・学校外に設置
- ・社会的自立や学校復帰に向けた支援を行う

令和4年12月現在利用者:29名

※参考資料参照

	月	火	水	木	金
9:45~ 10:30	支援 会議	フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動
		個別	個別	個別	個別
10:45 ~ 11:30		フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動	フリースペース 学習・活動
		個別	個別	個別	個別
13:15 ~ 14:00	保護者 相談	ソーシャル スキル トレーニング	スポーツ	スポーツ	ソーシャル スキル トレーニング
		ソーシャル スキル トレーニング	スポーツ	スポーツ	ソーシャル スキル トレーニング
14:15 ~ 15:00		ソーシャル スキル トレーニング	スポーツ	スポーツ	ソーシャル スキル トレーニング

38

## 2 羽島市の不登校対策について

### 取組みⅠ 不登校児童生徒への支援



#### ② 保護者への支援

##### 相談窓口の周知

学校情報配信アプリ「すぐーる」を活用した保護者からの教育相談を行う。

##### 保護者との面談・家庭訪問

学級担任・教育相談担当・いじめ不登校対策専門員等が保護者の困り感に寄り添いながら、相談等を行う。

##### 家庭支援

市子育て・健幸課（家庭支援センター）やスクールソーシャルワーカー、地域の民生委員等が家庭訪問し、保護者の支援を行う。

##### カウンセリング

専門的な知識をもったスクールカウンセラー等がカウンセリングを行う。

39

## 2 羽島市の不登校対策について

### 取組みⅡ 新たな不登校を生み出さない

#### 魅力ある学校づくり

**居場所づくり**…児童生徒が安心できる、自己存在感や充実感を感じられる場所をつくりだす

**絆づくり**…主体的に取り組む共同的な活動を通して、児童生徒自らが「絆」を感じ取り、紡いでいく

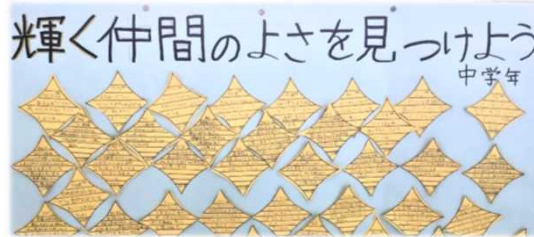
40

## 2 羽島市の不登校対策について

### 取組みⅡ 新たな不登校を生み出さない

<具体的な活動例>

#### 縦割り活動



仲間の  
よさ見つけ



運動会や合唱祭  
などの学校行事

41

## 3 他自治体の不登校児童生徒への取組について

### <不登校特例校>

文科省が指定する特別の教育課程を編成して教育する学校

岐阜市立草潤中学校

学校法人 西濃学園中学校

### <フリースクール>

不登校を中心に多様な学習活動等を行う民間施設

みんなの学び舎 ことのは

### <適応指導教室>

不登校児童生徒の社会的自立に向け、学校外の施設として、市町村が設置

市町村	設置数	市町村	設置数
岐阜市	4	瑞穂市	1
各務原市	3	北方町	1
山県市	2	大垣市	1
本巣市	2	海津市	2
羽島郡	2	関市	1

42

### 3 他自治体の不登校児童生徒への取組について

#### 岡崎市 <校内フリースクールF組>

校内に、教室復帰ではなく社会的な自立を目標としたフリースクールを設置している。

市内14中学校に設置(20校中) 300人ほどの生徒が利用

#### 広島県 <校内適応指導教室><オンライン支援>

校内に適応指導教室を設置

180人ほどの児童生徒が利用

オンライン教育支援センター NPO法人カタリバと提携

43

### 4 検討事項 ~今後の不登校対策について~

#### 取組み I 不登校児童生徒への支援

#### 校内適応指導教室「のぞみ(仮称)」の開設を検討

##### ○居場所づくりにおける選択肢を増やす

フィールドが増えることで、支援できる児童生徒が増える。

##### ○学校施設を利用した支援が可能

体育館や理科室、調理室など学校の特別教室を利用することができ、授業と同じ学習支援を行うことができる。

##### ○学校の日課に合わせた活動が可能

学校の日課に合わせて活動したり、学校行事に参加したりすることができる。



44

## 4 検討事項 ～今後の不登校対策について～

### 取組みⅠ 不登校児童生徒への支援

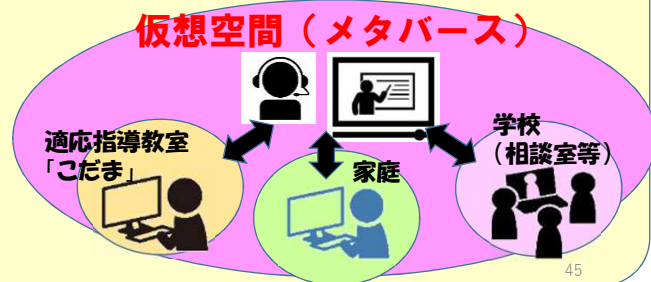
#### 仮想空間（メタバース）適応指導教室の新設

○家庭から出られない児童生徒に学習や交流の場を提供

学校や適応指導教室等の学びの場に通えない児童生徒に対して、仮想空間（メタバース）上でつながりをもつことができる場を提供する。

※メタバースとは…

インターネット上に作られた仮想空間。アバターと呼ばれる自分の分身を操作しながら、学習したり仲間と交流したりすることができる。



## 4 検討事項 ～今後の不登校対策について～

### 取組みⅡ 新たな不登校を生み出さない

#### 「一人一人にとって魅力ある学校づくり」の推進

自分たちの手で進める活動	お楽しみ会の企画・運営 生徒会と地域のコラボ企画 など
人との関わりを深める活動	「子ども⇄子ども」「子ども⇄教員」「子ども⇄地域」 多様な人との交流活動・感動体験
柔軟で多様な人間関係の構築	小学校における教科担任制の導入 目的や場面によって集団を変える
無理のない進級・進学	幼保と小学校の接続カリキュラムの見直し 小中の積極的な交流 小中合同「絆会議」

46